

保護者の皆様

渋谷区立加計塚小学校校長 近藤新太郎
 都スクールカウンセラー 長嶋 宏美
 区スクールカウンセラー 須藤 みか



スクールカウンセラーだより

皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでとは異なった年末年始を過ごされた方が多いのではないのでしょうか。緊急事態宣言も再発令され、継続的な自粛を余儀なくされています。こんな時こそオンラインなどを利用して、他者とのつながりを忘れずにいたいものです。

さて、今回は日本赤十字社が提唱している「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」から、一部抜粋してお話しようと思います。新型コロナウイルス感染症には、「3つの“感染症”」という顔があるというお話です。ウイルスがもたらす第一の感染症は「病気そのもの」、第二の感染症は「不安と怖れ」、第三の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。この3つの感染症はつながっていて、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる怖さがあるという内容です。皆さんも、何かとウイルスに結びつけて考えたりしていないのでしょうか。「あの人咳をしている・・・コロナだ」「熱があるけど怖いから黙っていよう」など、このように思ってから行動することから感染が広がっていくというのです。これらの負のスパイラルを防ぐために出来ることが、日本赤十字社のホームページに掲載されています。

これまで病気を防ぐための行動、強い不安や怖れを防ぐ為の方法については、4月号や5月号のおたよりでお話してきました。今回は第三の感染症「嫌悪・偏見・差別」について取り上げたいと思います。第三の感染症を防ぐために、不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。よって、①「確かな情報」を拡める。②差別的な言動に同調しないようにする。これらが大切なことのようにです。また皆さんが、それぞれの場所で感染を拡大しないよう頑張っている事をイメージすると良いと思います。小さな子供のいる家族、高齢者、治療を受けている人とその家族、自宅待機している人、医療従事者、日常生活を送って社会を支えている人、この事態に対応しているすべての方々をねぎらい、敬意を払えると良いと思います。

3つの感染症をみんなで乗り越えていくために、それぞれの立場で出来ることを行い、みんなが1つになって負のスパイラルを断ち切れるよう、あともう少し頑張りましょう。

引用サイト：日本赤十字社 新型コロナウイルス感染症対策本部

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」

アドレス：www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

相談室の開室曜日



すとう
須藤 みか (区スクールカウンセラー)
 第1・第3・第5 げつようび 月曜日
 10時～16時半



ながしま ひろみ と
長嶋 宏美 (都スクールカウンセラー)
 きんようび 金曜日 9時～17時